

## Dow Corning Toray PRIMER-D3(RF)

### 特長

プライマーD3(RF)は、プライマーA、プライマーD、プライマーD3の製品安全にける問題点を改善したプライマーです。

ガラス、金属、金属塗装類、各種プラスチック類に対し、幅広く接着性を発揮するプライマーです。

### 主成分

- ノルマルヘキサン
- イソプロピルアルコール

### シーリング材用プライマー

#### 用途

##### (1) ガラス類

フロートガラス、高性能熱線反射ガラス、熱線吸収ガラス、陶器、タイルなど。

##### (2) 金属類

アルマイト処理アルミ、電解着色アルミ、ステンレス、鉄。

##### (3) 金属塗装類

電着塗装アルミ、高温焼付フッ素樹脂塗料、常乾型フッ素樹脂塗料、ポリエステル塗料、エポキシ塗料、ウレタン塗料、アクリル焼付塗装、塩ビ鋼板など。

#### 代表特性

試験項目	測定値
外観	透明液体
固形分	5%
乾燥時間	30分(23℃) 60分(5℃)以上
密度(23℃)	0.69
標準塗布量	3.8g/m <sup>2</sup>

#### 使用方法

プライマーの効果を十分発揮させるために、次の作業手順をお守りください。

##### (1) 被着体表面の清掃

被着体表面(プライマー塗布面)を前もって清掃して下さい。トルエン、ヘキサン、アセトン等の溶剤でいねいに拭き、ほこりや油汚れを完全に取除いてください。また乾燥状態であることを確認してください。

##### (2) プライマーの塗布

被着体表面に均一に塗り残しがないように、うすく塗布してください。厚く塗り過ぎると十分な効果が得られないことがあります。

##### (3) プライマーの乾燥

プライマー塗布後、30分以上乾燥させてからシーリング作業を行なってください。乾燥時間は温度の影響を受けるため、低温ではより長時間の乾燥が必要です。

## 使用上の注意

- (1) 引火性溶剤を含んでいますので、火気には十分注意してください。(危険物第4類第1石油類)
- (2) 空気中の湿気あるいは高温に対して敏感ですから、保存や使用後は密栓して、冷暗所に保存してください。開封したまま放置しますと湿気と反応し、白色沈殿が生じたり、溶剤が揮発したりしてプライマーの効力を失います。
- (3) プライマーは必要な量だけ小分けしてお使いください。プライマー容器に直接ハケ等を入れてのご使用はプライマーの効力を失わせることがあります。
- (4) 作業後は手を良く洗ってください。
- (5) 使用に際し必要な安全情報は本データシートには記載されていません。ご使用前に、製品安全データシート(MSDS)及び、パッケージ又はパッケージのラベルに表示されている注意書きをよく読んで、使用上の安全をはかって下さい。
- (6) 実際の被着体と同一の試験片による接着性の確認テストを行うことをお勧めします。また目地設計・施工管理については建築用シーリングハンドブック、JASS8に準拠してください。製品安全データシート(MSDS)はウェブサイト、[www.dowcorning.co.jp](http://www.dowcorning.co.jp)にアクセスしてお求めいただけます。さらに、代理店または担当営業にご依頼いただいても結構です。詳しくは製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

## 保証期間

冷暗所 32℃以下にて未開封の状態  
で製造後 360 日。

## 包装単位

東レ・ダウコーニング(株)まで  
お問い合わせください。

## ご注意

ここに掲載する情報およびデータは弊社が信頼できると確信する資料にもとづいて作成しましたが、ご使用に際しては貴社のご使用条件にて事前に十分な試験を行なうていただき、貴社のご満足できる性能、効果の有無を必ずご確認ください。ここでご紹介する使用方法、用途などは、いかなる特許をも侵害しないことを保証するものではありません。

弊社製品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療および医薬用途向けには試験されておりません。医療用途には使用しないで下さい。

安全面での配慮を必要とする用途へのご使用に際しては、貴社にて事前に当該用途での安全性をご試験、ご確認のうえ、使用の可否をご判断ください。また、体内に埋植、注入する用途、または体内に一部が残留する恐れがある用途には、絶対に使用しないでください。

弊社の都合により本資料の内容を変更することがあります。又新製品、用途の開発によりカタログの改版を行なう場合がありますので随時ご請求ください。

## ウェブサイトのご案内

当社詳細及び連絡先については、ウェブサイト、[www.dowcorning.co.jp](http://www.dowcorning.co.jp)をご覧ください。

東レ・ダウコーニング株式会社  
テクニカルインフォメーションセンター  
0120-77-6278

*We help you invent the future.™*

[www.dowcorning.co.jp](http://www.dowcorning.co.jp)

■ プライマーD3(RF) 使用における各種シーリング材の簡易接着性試験結果  
 <初期 23±2℃・50±5%RH × 7日>

被着体		SH780	SE960	SE930
ガラス類	フロートガラス	○	○	○
金属	硫酸アルマイトアルミ	○	○	○
	ステンレス ヘアライン加工	○	○	○
	ステンレス 鏡面加工	○	○	○
塗装アルミ類	フッ素塗装アルミ (高温焼付けタイプ・艶なし)	○	○	○
	フッ素塗装アルミ (高温焼付けタイプ・艶あり)	○	○	○
	フッ素塗装アルミ (低温焼付けタイプ・艶なし)	○	○	○
	フッ素塗装アルミ (低温焼付けタイプ・艶あり)	○	○	○
	アクリル電着塗装アルミ (艶なし)	○	○	○
	アクリル電着塗装アルミ (カラークリヤー)	○	○	○
プラスチック	塩ビ鋼板	○	○	○
	ポリカーボネート	—	○	○
	アクリル板	—	○	○
	硬質塩ビ	○	○	○
	ABS	—	○	○
	FRP (ポリエステル)	○	○	○
	FRP (エポキシ)	○	○	○

○・・・十分な接着力が得られる △・・・接着するが十分ではない ×・・・接着力が弱い

- 注1) メーカー、品種によって、配合、製造方法、表面仕上げが異なるような材質に対しては、必ずしも当てはまらないことがあります。ご使用に際しては、あらかじめ接着テストを行うことをお勧めします。
- 注2) アクリル樹脂、ポリカーボネートにオキシムタイプである SH 780 を使用すると溶剤クラックを起すことがあります。これらの部材に対してはアルコールタイプである SE 960 を使用することをお勧めします。
- 注3) 本プライマーで使用されている溶剤は比較的プラスチックへの影響の小さいものですが、プラスチックの材質、ひずみ具合によっては溶剤クラックを起す可能性があります。プラスチックに使用する場合は事前に相性確認を行うことをお勧めします。